

貴重な年休が流れました！

4月から新しく年休が付与され、今年度がスタートしました。勤続年数にも関係しますが、皆さんは前年度の20日間の年休は有効に消化出来たでしょうか。

大阪第一、第二運輸所では3月の年度末に年休が流れてしまった事象が発生しました。発生したというより年休を認めないために「会社が流した」と言ったほうが正しいのではないのでしょうか。貴重な年休を流した会社に怒りを感じます。

組合員の中にも4日間も流れてしまった組合員がいますが、これまでの私たちの調査によると、職場の中では年齢や運転士、車掌長、車掌の職種に関係なく流れた経験があるという社員が多数いました。

職場では、一方的な休日出勤がいまだに強要され個人の休日が勝手に奪われています。前年度、一人2泊の休日出勤が指定され年間休日120日と定められている中で実質、118日しか休日がなかったということになります。

さらに、年休を申し込んで抽選結果が1番の結果でも発給されない状態も繰り返されています。このような状態の中で、自らの年休が自由に取得できない状態の職場を皆さんはどう感じますか。

会社は儲かっているのに、社員の年休が流れるのは平気なの…

仮に「百歩譲って」、流れる年休を買い上げ出来る制度でもあれば、少しは怒りが収まりますが社員の意志を聞き入れるような姿勢は今の会社には見えません。

平成24年度第3四半期決算では、営業収益が前年同期比6.9%増の1兆1,995億円、純利益が前年同期比48.8%増の1,827億円を計上し、過去最高を更新しました。さらに1兆9,327億円もの内部留保がある中で、会社はベースアップもなく定期昇給のみの回答でした。

儲かっているのなら、会社が責任を持って年休の買い上げを実現してほしいものです！